

『豊かな人間性の育成』

—多種多様な体験活動—

校長 萩野 幹夫

先月の日本人会役員会にて、日本人学校施設を利用して活動する『囲碁・将棋クラブ』が日本人会サークル活動として承認されました。

将棋は、本校にて中学年の子どもたちにひそかな人気で、教室の後ろの棚には、休み時間だけでは勝負がつかなかった対局中の将棋盤が置かれているのを時折見かけます。

現在、中学生のプロ棋士が連勝を続けているこの時、ヤンゴンでの将棋サークル活動の設立をうれしく思いました。

さて、放課後の居場所づくりでは、PTA や専門的なご指導をしていただけるサークルが増えてきました。一昔前までは、日本の学校には、外部人材を活用する発想はなく、教員がすべてを行っていました。学校の荒れが深刻化した時代になると一転して、『子供の教育・健全育成は学校だけが行うのではなく、広く専門家や地域人材を活用する方向で…』に教育行政の転換を図りました。このため「開かれた学校」を推進し、外部人材を活用した授業や健全育成活動が盛んに取り入れられるようになりました。

ここ数年、ヤンゴン日本人学校でもこのような課外活動が活発になってきました。運動不足や少子化等による友達とのかかわりあいの不足が叫ばれる中、子どもたちは、多くの外部の支援により、多種多様な体験できる機会をいただいています。ご多用の中、活動を支えてくださる関係者の皆様には心から敬意を表します。

現在 10 のクラブが活動しています。子供の数が増えてきたら、バスケットボールやバトミントンなど活動も増えてきたらいいなと思っています。

ご家庭でも、子供たちの参加をぜひ薦めてほしいと思います。

6月現在学校で行われている活動は以下の通りです。

火曜日	ソフトバレーボール	18:30~19:50
水曜日	アルビレックス新潟	15:30~17:00
水曜日	コアエクササイズ	17:30~19:00
土曜日	ラグビー部	16:00~18:00
土曜日	囲碁将棋クラブ	13:30~14:45
土曜日	混成合唱団	15:00~16:30
土曜日	ヤンゴン吹奏楽団	16:30~19:00
日曜日	サッカー	9:00~11:00 15:00~17:00
日曜日	卓空会ヤンゴン空手道場	13:45~15:45
日曜日	フラッグフットボール	16:00~18:00

子どもたちが日本に帰ったとき、胸を張ってヤンゴン、ミャンマーについて語ることができる、これは保護者の皆様と私たち教員の願いです。そのために、子ども達に「生きた学び」を習得させたいと、昨年度より積極的に体験的な学習を実施しています。

今年度は、既に小学部4年生が、JICAの渡邊さんとニューニャピン浄水場への見学、フレンチ校との交流で校外学習を実施しています。学校では、現地理解学習の充実を図るべく、①教材・人材バンクの作成②年間指導計画の改訂③体験を生かした課題解決学習の工夫の3点を目指して、教員の研修に力を入れて取り組んでいきます。

また、今年度は、現地理解教育資料『ヤンゴン』を改訂します。パゴダの写真が表紙のこの冊子は、ヤンゴン日本人学校では、全児童生徒が使っており、特に小学3年生は社会科の地域学習で使う副読本を兼ねています。今年データを更新するばかりでなく、ティラワなど新たな項目のページを挿入し、来年度以降の現地理解学習資料として活用できるよう改訂していきます。

海外にいるからこそ見える日本のよさ、ミャンマーを知ってこそ見えてくる日本のよさがあります。将来のミャンマーのよさと日本のよさについて語ることができる国際人を育てているという信念のもと『生きた学び』を今後とも大切にしていきます。

保護者の皆様には人材バンク等のお願いをしますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

言語の時間について

外国語担当 ティンマーラー

ヤンゴン日本人学校の特色のある教育活動の一つが『言語(ミャンマー語・日本語)』『英語』の授業です。授業では、段階別クラスに分かれ、年間22時間程度行っています。

この学習の目的は、外国語を習得することにより、国際人としての資質の向上を図ることです。

言語を教える教師として、言語獲得が、将来ある子供たちにとっても大切であることを認識しています。そのため、言語を習得させる四つのスキル、「話す・聞く・読む・書くこと」をバランスよく教えています。

授業では、教える際、黒板にまず教えるテーマを書いて、その言葉の意味について子供たちにいろいろ発表させます。たとえば、「服」なら子どもたちは自分たちが毎日着ている服装についてどれくらい理解と関心を示しているか、一人ひとりに言わせます。しかし、子供たちが理解に難しい時は、わたしたちは英語だけでなく日本語を使って子どもたちが理解できるように教えています。その際、物語やカラフルなカード、CDなどたくさんの教材を準備して教えています。繰り返し練習することによって、言葉の意味をもっと理解できるようになると思います。

さらに、一対一で話す練習をすること、グループで練習させることも話す能力を高めることに寄与すると思います。子どもたちは個別に教えるよりもグループで学ぶことの方をより好んでいるようで、グループ活動でお互い協力して楽しみながら頑張っています。

また、より進んだ子供たちには、ミャンマーの物語やことわざ、難しい言葉などを教えます。初歩の子供たちのためには、日本語とミャンマー語の二つの言語でよく理解できるように教えています。

この授業の体験が、言語を学習するというばかりでなく、子どもたちにとって『異文化を知る』一つのきっかけになってくれることを期待しています。

<主な学校行事予定>

24日(土) PTA スポーツ大会
6/26～30 教育相談週間
7/3～4日 期末テスト(中学部のみ)

17日(月)～26日(金) 個別懇談
28日(金) 終業式
29日(土) 夏季休業日始
8/27まで

図書室からのお知らせ

図書主任 末田 浩

PTA図書ボランティアの方々におかれましては、日頃より子どもたちの読書活動の充実のために、文庫整理や読み聞かせ活動等にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、本校では生徒・児童の生活読書向上のために、三本の柱を中心に取り組んでおります。

一つ目が、図書委員会を中心とした読書活動の推進。二つ目が、朝の読書の時間を中心とした生活読書の推進。三つ目が、授業における図書室の積極的な利用です。

ここヤンゴンで、日本の本を読むことはまだまだ難しい状況ですが、ヤンゴン日本人学校の図書室には日本の本が豊富に置いてある貴重な存在です。一人でも多くの子供たちに一冊でも多く読んでもらえるような取り組みを、これからも進めていきたいと思っております。

今後とも、本校、読書活動にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。